Press Release
北陸地方整備局 企画部 技術管理課からのお知らせ
令和７年６月２７日
本紙投げ込みを以て解禁
Technical administration section,Planning department,Hokuriku Regional Development Bureau,Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

・能登半島でECIによる「民間の技術力」を活用し復旧を加速します
ECI の「設計交渉・施工タイプ」は北陸初の取組み

令和6年能登半島地震によって、国道249号は石川県珠洲市若山町宇都山～輪島市門前町浦上の間（延長約 52.9 ㎞）については地割れや段差、道路の大規模な崩落、トンネルや橋梁など構造物の損傷等が複数箇所で生じていることから、道路法第13条第3項に基づく権限代行制度により復旧を進めているところです。

特に珠洲市大谷地先においては、大規模な斜面崩落が発生したほか、大谷トンネルでは覆工が崩落するなどといった大きな被害を受けた地区でもあり、現在も通行止めが続いています。これにより、迂回路として付近の県道・市道を通行している状況ですが、令和６年９月の豪雨災害でも迂回路が通行止めとなったことから、早期の復旧が必要な状況となっています。

このことから北陸地方整備局では、珠洲市大谷地区等の早期交通確保を目指すことを目的として以下の3 区間においてECI技術提案・交渉形式を活用した発注を採用し、復旧工事を加速化させていきます。

① 大谷トンネル区間 （設計交渉・施工タイプ）
② 烏川大橋を含む前後区間 （技術協力・施工タイプ）
③ 大谷地区のループ区間 （技術協力・施工タイプ）

①については、地すべり対策と同時にトンネル内の復旧を安全かつ速やかに進めるため、施工者自らによる設計により仕様を設定することが必要と判断される区間です。よって、設計段階から施工者の技術提案を反映することができること及び施工者による効率的な設計が可能となる、ECI（技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ））を採用することとしました。なお設計交渉・施工タイプは北陸地方整備局では初めての取組となります。

②③については別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させる、ECI（技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ））を活用し、復旧工事を加速化することとしました。

※ECI（技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）） ： 技術提案に基づき選定された優先交渉権者と設計業務の契約を締結し、設計の過程で価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結する
ECI（技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）） ： 技術提案に基づき選定された優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結

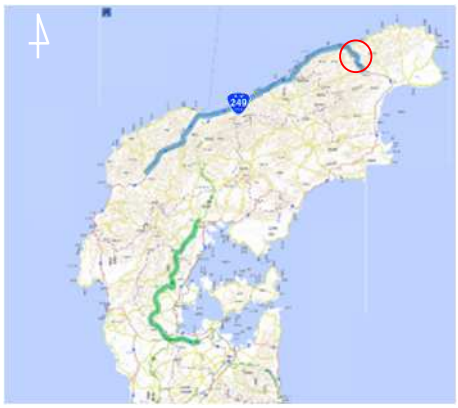
取 扱 ： 本紙投げ込みを以て 解禁

【同時FAX先】 建設速報社 、新潟建設工業新聞社 、日刊建設通信新聞社 新潟支局 、日本工業経済新聞社 新潟支局 、日刊建設工業新聞社 北陸総局 、建設ジャーナル社 、産業新聞社 北信越支局 、鉄鋼新聞社 新潟支局 、北陸工業新聞社 新潟支局

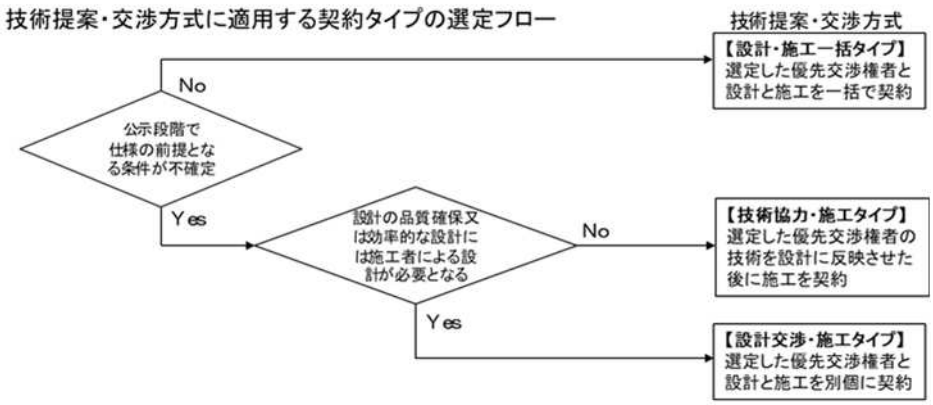
【問合せ先】 国土交通省北陸地方整備局
〒９５０－８８０１ 新潟市中央区美咲町１－１－１
TEL（代表）０２５－２８０－８８８０
企 画 部 技術開発調整官 堀内 崇志 （内線３１２０）
技術管理課長 吉田 健一 （内線３３１１）

【位置図】





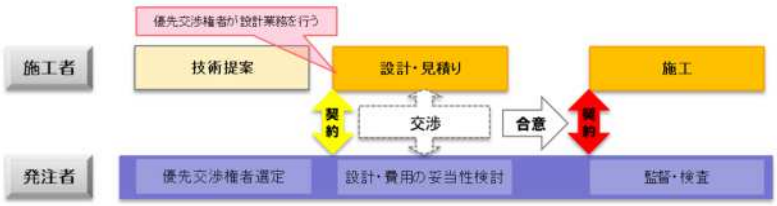
【参考】



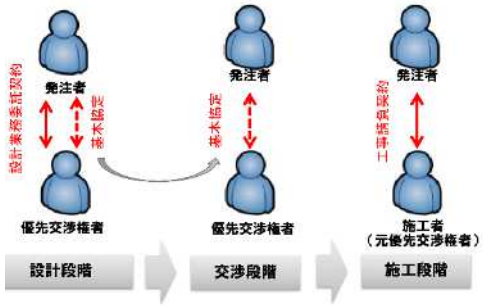
②R7 249 号烏川大橋復旧工事にかかる技術協力業務
③R7 249 号大谷ループ復旧工事にかかる技術協力業務

①R7 249 号大谷トンネル復旧工事にかかる設計業務

＜設計交渉・施工タイプ＞

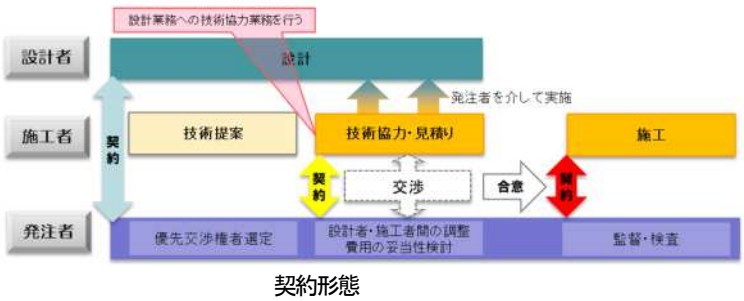


契約形態

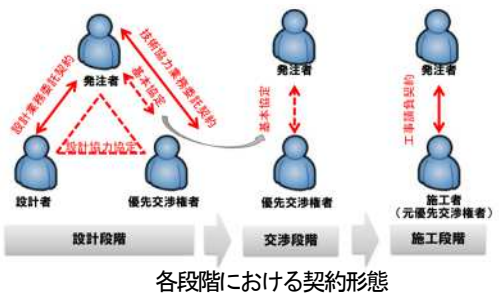


各段階における契約形態

＜技術協力・施工タイプ＞



契約形態



各段階における契約形態